

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	一般小売店〔生花〕（経営者） 家電量販店（店員）	来客数の動き 販売量の動き	・イベントや夏祭り等の効果で例年よりも人出が多く、来客数が増えた。晴天が続いたことや、観光客が増えたことも大きい。 ・猛暑が続き、エアコンをはじめ季節商材がけん引している。
変わらない		商店街（事務局長）	来客数の動き	・円高株安など先行き不透明で、アベノミクスの停滞感も強い。猛暑が続いて、婦人服等は好調だが、飲食店は人材の確保も難しい。消費者は大きな出費を控え、家族や仲間と一緒に楽しめるレジャーや娯楽施設へ目を向けている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・8月は大きなお祭りや多くのイベント等が開催され、商店街にもかなりの観光客が来ていたが、買物袋を下げた人は少なかった。飲食には消費するが、土産品などを買う様子は全く見られなかった。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	お客様の様子	・猛暑なのに、価格のせいか、夏が稼ぎ時のビール等が売れなかった。
		スーパー（財務担当）	単価の動き	・価格を下げたことにより買上点数が若干増えたが、来客数及び客単価の下落が大きい。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・客数、客単価ともに微増している。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・お盆の期間は前年並みに推移したが、その前後は相変わらず前年比マイナスで、売上減少が続いている。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・先月同様、売上は増加しているが、猛暑によるもので景気が良くなっているわけではない。
		コンビニ（商品担当）	来客数の動き	・好天に恵まれたものの、猛暑の影響が来客数が増えない。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・台風にも襲われず、天候は比較的順調に推移しているが、売上は微増程度。印象としては厳しい。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・例年8月は販売の動きが重い。今年も、商品強化は目立ったモノがなく、販売台数は鈍い。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・販売台数及び受注台数共に前年を上回っているものの、軽自動車市場は19か月前年割れが続いており低水準である。
		乗用車販売店（役員）	お客様の様子	・7月までの受注は順調に推移していたが、8月はやや減速している。しかし、来場者数や在庫台数は前年並みに推移しており、売上も落ちていない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	お客様の様子	・必要なものしか購入しない姿勢が強く感じられる。
		観光型旅館（経営者）	お客様の様子	・円高株安などで企業の方は景気は良くない感じ。そのため、宴会その他が増えず、消費も増えないというのが現状。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・当地のお祭りと重なった祝日「山の日」の効果はあまり無かったが、8月の宿泊客の動きは総じて良かった。お盆以降は、例年になく個人客が増えた。しかし、レストランや宴会を利用する人数も減り、単価も削られている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・中距離客が減少している。現状維持が精一杯。
		通信会社（営業部長）	販売量の動き	・今月の販売数は5月比10%増だが、月初が多く、中旬以降はむしろ少ない。
		通信会社（支店長）	販売量の動き	・夏休み商戦に特別な動きは見られなかった。
		通信会社（企画）	お客様の様子	・お客様からの引き合いは前月と変わらない。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・8月の売上は前月比4%増、3か月前比は横ばい、前年比4%減となった。お盆レースは前年比5%減、場外発売として女子のG1レース、SGレースが発売されたが、期待通りの売上増とはならなかった。
美容室（経営者）	来客数の動き	・新規客数が減っている。		
設計事務所（所長）	単価の動き	・建築単価は高止まりしている。		
やや悪くなっている	商店街（代表者）	それ以外	・20数年来検討してきた街づくりが白紙に戻り、しばらく方向性のない議論が続く。	

	商店街（代表者）	お客様の様子	・猛暑で客の外出機会が減っているようだ。仕入先等においては商品仕入量が減少しているようで、景気が悪くなっていると感じる。	
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・暑さの影響もあるが、買いたい物しか買わない状況。	
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・前年にはなかった物産展や動員催事を積極的に開催している。台風の影響を受けた前年の反動から売上は前年比プラスになる見込みだが、売上計画は下回る。とりわけ、婦人服を中心に衣料品が不振。	
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数も販売量も芳しくない。土日でも街中の通行量が少なく、集客は見込めない。	
	衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・購買客数が前年から大きく減少している。猛暑の影響が大きく、来店客数が落ち込んでいる。セールも終わり、低価格品が多いこともあるが、客数減少が売上に直接影響している。	
	乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・ワンボックス及びSUV車のモデルチェンジ効果が薄れた事もあり、新車販売台数に占める高額車の比率が下がった。その為、売上、利益ともに減少した。	
	旅行代理店（営業部長）	来客数の動き	・団体客は比較的安定しているが、個人旅行の回復の兆しが一方向に見えない。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・3か月前は結構忙しかったが、8月は暑くてお遍路もほとんどなく、現在の売上はかなり低い。	
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・イベントでの新規来場者が減少している。	
	悪くなっている	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・店頭売上も外商売上も、前年を大きく割り込んでいる。
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・コンビニやドラッグストアの出店が相次ぎ、売上が上向く要素がない。オリンピック特需もないので、景気が良くなる要素はない。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・予約は伸び悩んでおり、昨年と比べて非常に悪い。
企業動向関連 (四国)	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	食料品製造業（商品統括）	競争相手の様子	・専門分野への投資と人材集中により、利益体質を実現できている。
		輸送業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・前年より良くなっている。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・取引先の企業で採用活動が活発になっている。
	変わらない	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・地方都市の小売店は良くない中、店舗運営や商品内容など他店との差別化を図っている店は順調。最近、海外からの問い合わせが増加しており、今後少しずつ海外市場が拡大していく。
		建設業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量はほぼ横ばい、販売量は増加しているが、景気は変わらない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事と民間工事を各1件ずつ受注できたが、これではまだ不十分。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・手持ち仕事量は減少した一方、今年度の受注分が寄与し始めている。まだ売上には寄与しないが、これは想定済み。景気に大きな変化はない。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・今の時期だけだろつが、飲料の動きが活発になっている。メーカーからの引取及び問屋、小売への配送量が大幅に増加している。
		金融業（副支店長）	取引先の様子	・取引先企業の運転資金需要はおう盛とも低調ともいえない。これまで比較的堅調だった土木建設業及び関連資材卸売業などの短期運転資金需要も一服感が見られる。
		公認会計士	取引先の様子	・今月の関与先の決算書、試算表等を見ると、ほとんどが前年と比べて大きな動きはない。
	やや悪くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年8月は、盆休みもあって稼働率が低下し、受注も落ちる。
		鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・当社受注量は産業用機械・造船向けともに減少傾向。特に造船はさらに大型化が進み、当社の限界重量18トンを超える鋳鋼品が増加し、当社の受注は減少している。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国内は地域や顧客によって稼働にばらつきがあり、海外需要は減少傾向にある。

		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・再生エネルギー設備を全国展開しているが、国・県等の許認可が非常に取りにくく、苦戦している。
		電気機械器具製造業（経理）	それ以外	・販売量は微増傾向であるが、収益性の異なる製品の出荷構成により利益が低下している。
		輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・消費者の購買意欲の低下を強く感じる。暑さが厳しく晴天の日が多かったのに一般消費財の動向は鈍く、雨が多くて気温の低かった昨年以上に取扱物量が低迷した。
	悪くなっている	-	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-	-
(四国)	やや良くなっている	人材派遣会社（営業）	雇用形態の様子	・慢性的な人手不足が続いている。企業は人材確保のためには雇用条件の改善が必須である。求職者は、それを比較して好条件の労働に就ける可能性が高い。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・有効求人倍率が1倍を超えており、求職者も仕事をより厳選しているように感じる。そのため派遣登録に来る人も目減りしている。
	変わらない	職業安定所	それ以外	・7月の有効求人倍率は1.30倍で、3か月前の4月とくらべて0.02ポイントの上昇にとどまった。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・求人意欲は増加を続けているが、まだ採用条件に好転は見られない。
		民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・最近スポーツ関連企業と接する機会が多いが、ほとんどの企業ではオリンピックの恩恵を享受していない。
	やや悪くなっている	学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	・企業側から景気が良い、悪いという話は聞こえてこない。
		人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・製造業は業種によって求人のばらつきがあり、全体では減少傾向にある。
		求人情報誌（営業）	求人数の動き	・周辺企業では求人数が増加し続けているが、そのなかで採用に成功・充足している企業は少ない。特にコア人材不足が深刻化している。
	悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・広告の発注が伸び悩んでいる。
		-	-	-